

5月25日(月曜日)「心を引き裂け」

【新改訳 2017】

## ヨエル書 2・12－27

「『……主の御告げ一心を尽くし、断食と、涙と、嘆きとをもって、わたし(神)に立ち返れ。』あなたがたの着物ではなく、あなたがたの心を引き裂け。……主が思い直して、あわれみ、そのあとに祝福を残し……。』(12－14節)

ヨエル書は小預言書の1つです。著者ヨエルについての詳細はわかりませんが、ペンテコステ(聖霊降誕日)の預言でよく知られています。

ヨエルの年代は断定できませんが、当時のいなごによる大きな災害を、彼は民の罪に対する神のさばきと受けとめ、神の前に心底から悔い改めるように訴えました。ユダヤ人たちは、悲しい時や悔い改めの時には、衣服を引

き裂いて伏して祈る習慣がありました。しかし預言者は、表面的な行為ではなく、「自分自身の心を裂け」「心底から悔い改めよ」と迫り、そうしてこそ、あわれみと祝福を期待できるのだ、と語っています。

本当のリバイバル(信仰復興)がここから始まるということは、今日も同じでしょう。似て非なる行動には気をつけなければなりません。

～祈り～

主よ。どうか、表面的、形式的な反省ではなく、心からの悔い改めをもってあなたに信頼する者としてください。そして、真のリバイバルにあずかる者とならせてください。

【学びのために】

悲しみや悔い改めの時、ユダヤ人は、灰をかぶり、衣服を裂き、荒布をまとう習慣がありました。創世記37・29、34、エズラ9・3、5ほか参

照